

新発田市 令和元年度 第 5 回定例記者会見

- 1 日 時 令和元年 8 月 1 日 (木) 午前 11 時 ~
- 2 場 所 ヨリネスしばた 501 会議室
- 3 内 容
 - 世界ジュニア卓球日本代表選手第 1 次選考会
城下町新発田まつり
 - しばた川灯籠流し
 - 小・中学生による新発田城清掃活動(クリーンプロジェクト)
古文書電子データのインターネット公開
花市
柳田理科雄講演会「科学の目で見えるマンガ・アニメの世界」
笑顔写真家「えがお先生」のスマイルフォト撮影会
中央図書館企画展「新発田市立図書館 90 周年記念展」
ちょっぴりこわいおはなし会
札の辻キッズランドでプールで遊ぼう！
映画「パレードへようこそ」上映会 & 講演会
婚活イベント「星恋ものがたり - 満天の星の下 - 」
高校音楽祭
市民将棋大会
山形交響楽団 新発田公演

あいさつ

真夏ならではの天気が続いています。熱中症は、梅雨明け後 1 週間後位は、体が慣れていないためにかかりやすいと聞きます。

また今年は、稲作は期待できるのではないのでしょうか。昨年が昨年でしたので、良い作況指数になるのではないかと考えています。

暑いときには、熱い話題をと考えると、やはりスポーツの話になるのでしょうかけれども、先般、当市出身のバスケットボール選手の富樫勇樹さんに帰省してもらい、当市からお願いをしていたスポーツ大使の就任を快く引き受けていただきました。

彼自身も常に、ふるさと新発田のことが気になっているとのことで、「自分が頑張って試合で良い成績を残すことが、結果として新発田市の P R につながると考えている」と大変うれしいコメントをいただきました。

まるで孝行息子を持ったような気持ちです。スポーツ大使任命式を行った際に、同席していた千葉ジェッツふなばしの島田社長に、来年はぜひアルビレックス新潟との交流試合をしていただきたいと思いますとお願ひしました。前向きなコメントをいただきましたので、実現するのではないかと考えています。

先日、スポーツ関係でトップセールスに行き、JR東日本野球部の皆さんに、新発田で合宿を行ってもらいたいとお願ひをしてきました。

「社会人野球日本選手権」への出場が決定すれば、最終調整を新発田市の五十公野球場で実施するという約束をしていただきました。

また、令和3年度の予定ですが、社会人野球の交流戦を新発田市で実施するという企画があります。JR東日本などの硬式野球部を当市に誘致し、交流戦と合宿を行ってもらえるよう調整を進めているところです。

実現した折には、取材をしてきただき、記事にしてもらえれば大変ありがたいと思っています。

それでは、会見項目を説明いたします。

最初に、「世界ジュニア卓球日本代表選手第1次選考会」について

当市ではスポーツ&カルチャーツーリズム推進事業に取り組んでいます。今年度の目玉事業として、全国規模の大会を誘致し、国内トップレベルの試合を観戦できる機会を、皆さんに提供するため準備を進めてきました。

8月29日(木)から9月1日(日)までの間、「世界ジュニア卓球選手権バンコク大会」の日本代表選手第1次選考会を、カルチャーセンターで開催します。

期間中は、日本卓球界の未来を担う、ジュニア世代のトップレベルの選手16人が一堂に会し、日本代表の座をかけて戦います。

出場予定選手の中には、世界大会での優勝経験もあり、新発田ジュニア卓球クラブ出身の相馬^{ゆめの}夢乃選手のほか、7月に上海で開催された「東アジアホープス卓球大会」で、それぞれ優勝した松島^{そら}輝空選手、張本^{はりもと}美和選手もいます。

卓球はスター選手の活躍もあって、国内では人気のスポーツになっており、卓球ファンの方はもちろんのこと、そうでない方にとっても、国内トップレベルの選手の雄姿を見ることのできる絶好の機会となります。

入場は無料であるとのこと。このまたとないチャンスを前に、市民の皆さんはもとより、市外からも多くの皆さんにご来場いただき、観戦していただきたいと思っています。

次に、「城下町新発田まつり」について

いよいよ新発田の夏の終わりを彩る「城下町新発田まつり」が近づいてきました。

この季節は各地で花火が上がりますが、8月23日（金）に行われる、新発田まつりの花火の最大のセールスポイントは、市街地で打ち上げられ、夜空に浮かぶ新発田城の姿と、その上空を彩る花火のコラボレーションであると思います。

今年は、さらに市街地花火を盛り上げるため、初めての試みとして、「スターイン特別記念花火」の打上団体を募集しました。

趣旨にご賛同いただき、予定をしていた団体数の2倍となる、6団体から申し込みがあり、一層、見応えのある花火大会となるのではないかと楽しみにしているところです。

8月26日（月）から28日（水）にかけては、「札の辻広場」や商店街を中心に、躍動感あふれるよさこいチームの演舞や、流麗な「民踊流し」、華やかな「まつりパレード」などの催し物が行われます。

そして、8月29日（木）には、まつりのハイライトである「帰り台輪」があります。

6町内の台輪が、ヨリネスしばた前の交差点に集結し、行う勇壮な一斉あおりは、城下町新発田まつりの一番の見せ場になります。ぜひ、多くの皆さんに観覧いただき、最高潮に達したまつりの熱気を感じていただきたいと思っています。

次に、「しばた川灯籠流し」について

8月17日(土)に、かつて夏の風物詩とされていた、新発田川での灯籠流しが35年ぶりに復活されます。

これは、日頃から、新発田川の保存・活用に向けて活動している、「新発田川を愛する会」の皆さんが発案し、寺町界限のお寺に呼び掛け、実現する運びになったと聞いています。

当日は、法要が行われたあと、清水園をスタート地点として託明寺裏まで、距離にして約500メートルの区間で、約250基の灯籠が流されるとのことです。

ふだんから風情ある清水谷・寺町界限ですが、新発田川を流れる灯籠の暖かな灯りに照らされて、いつもとは趣の異なる雰囲気にも包まれるのではないのでしょうか。

灯籠流しを希望する方は、寺町たまり駅において先着順で申し込みを受け付けているそうです。志納金^{しのうきん}は1基につき千円です。

次に、「小・中学生による新発田城清掃活動(クリーンプロジェクト)」について

夏休み期間中の8月10日(土)に、本丸中学校の生徒会が企画し、外ヶ輪小学校の児童に呼び掛けて、いっしょに新発田城の清掃活動を行います。

当日は、グループに分かれて表門や隅櫓、辰巳櫓のすす払いや雑巾がけなどを行うほか、城内の草取りなどを行うとのこと。

清掃活動を通じて、お城の歴史にふれたり、場内からの景色を楽しんだりしながら、ふるさとのシンボルである新発田城の魅力を再発見してもらいたいと思います。

次に、「しばた平和のつどい」について

2週間後には、令和時代最初となる終戦記念日を迎えます。当市では、例年、戦争の悲劇を繰り返すことなく、平和への思いを引き継いでいくために、「しばた平和のつどい」を開催しています。

今年は8月10日(土)に、「しばた平和のつどい」を開催しますが、これに先立ち、8月5日(月)から7日(水)の間、市内中学校の代表生徒10人を、広島市で行われる広島平和記念式典に派遣します。

中学生たちは、戦争の傷跡が残る現地に^{おもむ}赴き、目で見て、耳で聞き、心で、さまざまなことを感じ取ってきてくれることと思います。

「しばた平和のつどい」の当日には、中学生が感じた戦争放棄、そして、国際平和への思いを報告してくれることになっています。

また、広島で被爆を体験された「ヒロシマを語り継ぐ教師の会」の^{かじや}梶矢^{ふみあき}文昭さんを広島市からお招きし、平和祈念講演会を行うほか、朗読コンサートなども予定しています。

ぜひ、多くの皆さんにご参加いただき、新発田の時代を担う子どもたちの発表に耳を傾けていただきたいと思いますし、令和の時代が、平成と同じように、戦争のない時代となるよう、平和について一緒に考えていただきたいと思います。

このほかの情報としては、歴史図書館で進めている「古文書電子データのインターネット公開」が開始されるほか、お盆の恒例行事である「花市」の話題があります。

また、イクネスしばたを会場に開催されるイベント、「空想科学^{どくほん}読本」でおなじみの^{やなぎだりかお}柳田理科雄さんの講演会や、笑顔写真家として活躍する「えがお先生」のスマイルフォト撮影会などの情報があります。

さらには、ヨリネスしばた札の辻キッズランドで行う「プールで遊ぼう！」や、人権意識の普及高揚^{こうよう}を図るためLGBT^{エルジービーティー}をテーマにした映画「パレードへようこそ」の上映会と講演会など、たくさん話題があります。

一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田を盛り上げていただきたいと思います。